

本町児童館の閉館について

市内の児童館について

老人福祉施設と併設しております中央児童館をはじめ、市内には児童館が5施設あります。
その内、中央児童館、本町児童館、押野児童館の3館は市が運営しており、ふじひら児童館、
つばきの郷児童館の2館は社会福祉法人が運営しております。

本町児童館の概要

昭和58年4月1日事業開始（昭和58年3月完成 築38年）

（1）所在地 野々市市本町3丁目10番12号（704.49㎡）

（2）建 物 鉄筋コンクリート造（建築面積 203.46㎡、延べ面積 192.26㎡）

（3）職員数 3名 （正規職員1名・会計年度職員2名）

（4）利用者数

	中央児童館 (市・老併設)	本町児童館 (市立)	押野児童館 (市・保育園併設)	ふじひら (民・学童併設)	つばきの郷 (民・学童併設)
小学校区	菅原小学校	菅原小学校	館野小学校	富陽小学校	御園小学校
平成10年度	28,521人	12,555人			
平成20年度	21,398人	10,628人	12,908人		
平成30年度	22,272人	6,948人	11,557人	16,656人	26,137人
令和元年度	17,705人	6,675人	14,291人	16,783人	25,810人
令和2年度	13,847人	3,497人	14,275人	13,852人	19,215人

※令和2年度の緊急事態宣言期間中は休館

（5）運営にかかる経費（令和2年度）

	人件費及び 事業費（※）	利用者一人 あたり経費
中央児童館	12,379千円	894円
本町児童館	12,993千円	3,715円
押野児童館	18,250千円	1,278円

参考）民間児童館運営費補助金 平均支出額6,679千円／館

※ 事業費は施設の警備費、水光熱費を除いたもの

(6) 修繕が必要な箇所など

外壁クラック、屋上・ベランダ防水、遊戯室暖房修繕、その他設備の老朽化に伴うものなど多くの箇所で修繕が必要です。

本町児童館の閉館理由と方針

- ① 近年、野々市市では放課後児童クラブの施設整備を進めてきました。
その結果、どの小学校区においても放課後児童クラブが充足した状況にあることから、多くの児童が放課後の居場所として放課後児童クラブを利用しています。
一方、放課後の居場所の一つでもある本町児童館の利用者数は減少しています。
- ② 施設の老朽化が進み、施設全体の大規模な修繕が必要な時期にきています。
また、遊戯室には冷房が設置されておらず、トイレが和式であるなど、施設が現在の気象や生活様式にそぐわなくなっており、大規模な改修も必要です。
- ③ 敷地や間口が狭いことから、駐車スペースが少ないうえに出入りがしにくいなど、市民にとって利用しにくい施設となっています。
- ④ 同じ菅原小学校の校区内には本町児童館のほかに中央児童館もあることから、本町児童館を閉館して中央児童館にその機能を集約することができます。

以上のことから

本町児童館を令和4年度中に閉館し、その資源と機能を中央児童館に集約することで、中央児童館の子育て支援機能の強化を図ります。

跡地利用については、敷地が旧北国街道に面していることから、賑わいを創出するための場として活用するなど、子育て関連に絞ることなく、広く検討する予定です。